



BUSINESS REPORT

第116期 中間報告書

株主の皆さまへ

2025年12月1日から2026年5月31日まで

津田駒工業株式会社



～最高の品質をめざし
社会に貢献する～

2024-2026 スローガン



連結業績ハイライト

受注高

23,108 百万円
(前年同期18,038百万円)

売上高

16,525 百万円
(前年同期17,373百万円)

営業損失

△89 百万円
(前年同期△146百万円)

経常損失

△87 百万円
(前年同期△361百万円)

親会社株主に帰属する中間純損失

△193 百万円
(前年同期△353百万円)

1株当たり中間純損失

△30.29 円
(前年同期△55.40円)

(注) △印は、損失を示しています。

繊維機械事業

受注高 **19,635** 百万円 (前年同期15,420百万円)

売上高 **13,311** 百万円 (前年同期14,671百万円)

営業利益 **112** 百万円 (前年同期243百万円)

工作機械関連事業

受注高 **3,472** 百万円 (前年同期2,618百万円)

売上高 **3,213** 百万円 (前年同期2,701百万円)

営業利益 **354** 百万円 (前年同期166百万円)

第116期中間報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、個人消費や企業の設備投資が増加したことを背景として、緩やかな回復が続きました。一方、中東情勢の混乱による資源の高騰、米国の関税政策の影響など世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした中、当企業グループでは2024年度から2026年度をターゲットにした「中期経営計画2026」を策定し、これを津田駒再生計画と位置づけ、「TSK26」と銘打ち、安定した利益の確保を目標とした活動を展開しています。

繊維機械事業では、中国市場で引き続き高級スポーツカジュアル分野が好調で、ウォータジェットルームの大型案件の受注が続いています。インド市場では、国内市場の停滞と、米国関税政策による輸出の落ち込みから立ち直りが見られます。

産業資材分野は、ガラス織物用の準備機の受注が急増しております。AI半導体の基板用ICクロスの需要が高まっており、今後はエアジェットルームでの受注も期待できます。

工作機械関連事業では、米国市場は堅調で、自動車産業を中心に新規設備投資も始まりました。また航空宇宙・データセンタの発電設備向け大型NC円テーブルの引合いも継続しております。

中国市場では、ロボット用部品加工用途でまとまった台数の引合いを獲得しており、新たな市場とし

て期待しています。国内市場では、一部自動車メーカーの投資が開始され受注が増加傾向にあります。

今年は中期経営計画「TSK26」の最終年度であり、掲げる重点施策を着実に実行し、次期の中期経営計画に向けて、さらに行動を加速していきます。

繊維機械事業では、インド・中国を中心とした一般衣料向けエアジェットルーム、内需が好調な中国に加え、南西アジアに生産地が広がりつつある高級スポーツブランド向けウォータジェットルーム、そして今後大きな成長が期待されるエアバッグなどの産業資材向けと三つの目標を立て、販売活動を強化しています。

工作機械関連事業では、米国・中国・欧州・日本といった既存地域に新型NC円テーブルを投入すると共に、成長するインド・東欧・ASEANを中心とした新規市場の積極的な開拓、小型加工機、ギア面取り機等、NC円テーブルを活用した新製品の拡販に注力しています。

航空宇宙産業向けに新たな開発を継続するコンポジット機械も含め、収益の改善を図り、安定した利益体質の構築と確実な業績の回復を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては何卒格別のご理解と、今後とも引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼社長 高納伸宏

～繊維機械事業～

愛媛県今治市にて「ZAX001neo Terry」のプライベートショーを開催

4月15日・16日に愛媛県今治市にて開催した、新型エアジェットタオル織機「ZAX001neo Terry」のプライベートショーには、全国の主要タオル産地から28社・100名を超えるお客様にご来場いただき、当社の技術力と市場競争力を強く印象づける場となりました。

展示機は800rpmの高速運転を安定して実現し、難易度の高い毛違い品種（※）のタオルを高品質に製織しました。特に、タオル専用に開発したカム箆（おさ）打ちシステムは、最適化したカム曲線、飛走角拡大によるヨコ入れ時間の確保、美しいパイル形成と高品位タオルの安定製織といった点で、お客様から高い評価を頂きました。

また生産効率の向上、品質の安定化、省人化・省エネへの貢献といった観点でも前向きな評価が寄せられ、今後の受注拡大に確かな手応えを得ることができました。

「ZAX001neo Terry」は、タオル産地が求める高生産性と高品質の両立に応える製品として海外の市場からも強い期待が寄せられており、当社繊維機械事業の競争力強化に直結する戦略製品です。中期的には、同事業の収益拡大を支える重要な柱となる見込みです。

（※）異なる色や種類の糸を織り込み、裏表で色と柄が反転するリバーシブルの織り方



新型エアジェットタオル織機「ZAX001neo Terry」



多くの来場者から高い評価を得た

AIサーバー需要拡大を追い風に ガラス繊維用織布準備機の受注が急増

AIの急速な普及に伴い、高性能プリント基板に使用されるガラス繊維クロスが世界的に拡大しています。これを受け、クロス製造の前工程である整経・糊付などの準備設備への投資が活発化し、当社のガラス繊維用織布準備機への引合い・受注が大幅に増加しています。

当社は長年にわたりガラス繊維に特化した準備機を開発・製造しており、T-Tech Japan社（※）を通じて、過去10数年間で約120台の納入実績を築いてきました。この実績は、極めて細く取り扱いの難しいガラス繊維を高精度な張力制御によって安定的に処理する当社独自の技術力が、市場から高く評価されている証です。

AIサーバー向けの高性能基板には、熱膨張や反りを抑制する高度なICクロスが不可欠であり、その生産能力増強が世界規模で進んでいます。当社の準備機は、極細繊維を傷めることなく繊細に扱う技術と、高精度な張力制御による品質安定化を実現しています。現在この高難度分野に対応できる設備として高い評価を獲得し、今後も需要拡大が期待されています。

ガラス繊維クロスは、AIサーバーをはじめ、高性能電子機器や産業機器向け基板を支える重要素材です。当社は成長市場における確かな技術的優位性と豊富な実績を強みに、拡大する需要を着実に取り込みながら、高付加価値分野での存在感をさらに高め、持続的な企業価値向上を目指していきます。

（※）津田駒工業株式会社と株式会社豊田自動織機の合併会社。織布準備機を販売。



合織用ビーミングマシン TB30F



ガラス用シングルエンドサイザ TSE10G

連結財務データ

中間連結貸借対照表 (単位：百万円)

科 目	前 期 令和7年11月30日現在	当中間 令和8年5月31日現在
資 産 の 部		
流動資産	17,858	15,699
固定資産	11,502	11,445
有形固定資産	7,181	7,052
無形固定資産	43	37
投資その他の資産	4,276	4,355
資 産 合 計	29,361	27,145
負 債 の 部		
流動負債	20,117	18,714
固定負債	6,257	5,811
負 債 合 計	26,375	24,525
純 資 産 の 部		
株主資本	1,019	825
その他の包括利益累計額	1,827	1,700
非支配株主持分	138	92
純 資 産 合 計	2,985	2,619
負債純資産合計	29,361	27,145

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書 (単位：百万円)

科 目	前中間期 令和 6年12月 1日から 令和 7年 5月31日まで	当中間期 令和 7年12月 1日から 令和 8年 5月31日まで
売上高	17,373	16,525
営業損失 (△)	△146	△89
経常損失 (△)	△361	△87
税金等調整前中間純損失 (△)	△281	△87
中間純損失 (△)	△350	△190
親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△353	△193

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の概況 (令和8年5月31日現在)

株式の状況

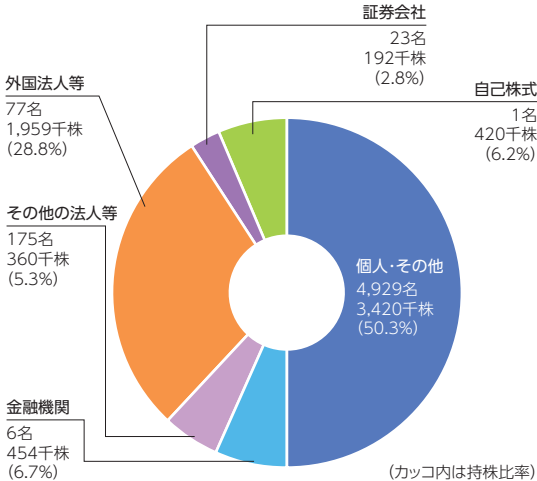
①発行可能株式総数	19,900,300株
②発行済株式の総数	6,807,555株
(内自己株式の数)	(420,209株)
③単元株式数	100株
④株主数	5,211名

大株主の状況

株 主 名	持株数 (千株)
津田駒取引先持株会	1,426
INTERACTIVE BROKERS LLC	317
MSIP CLIENT SECURITIES	300
PERSHING-DIV.OF DLJ SECS.CORP.	290
明治安田生命保険相互会社	280
個人株主	222
ツダコマ従業員持株会	194
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	182
JP JPMSE LUX RE UBS AG LONDON BRANCH EQ CO	128
モルガン・スタンレーMU F G証券株式会社	119

(注) 当社の保有する自己株式420千株は上記表には含んでおりません。

株式の分布状況



会社概要

本社所在地	〒921-8650 石川県金沢市野町5丁目18番18号	資本金	123億1,654万円
設立	昭和14年12月30日（創業 明治42年3月）	従業員	751名

役員の状況（令和8年7月21日現在）

取締役	
代表取締役会長兼社長	高 納 伸 宏
代表取締役専務	北 野 浩 司
取締役	室 井 哲 也
取締役（社外）	松 原 和 弘
取締役（社外）	河 村 肇
取締役（社外）	下 川 広 佳
監査役	
常勤監査役	長 谷 博 史
常勤監査役	若 森 達 雄
監査役（社外）	澁 谷 進
監査役（社外）	梶 政 隆

執行役員

社長執行役員	高 納 伸 宏	繊維機械部門統括 法務・コンプライアンス室担当 TSUDAKOMA Europe s.r.l.代表取締役
専務執行役員	北 野 浩 司	管理部門統括 輸出管理室長、経営企画室長 ふぁみーゆツダコマ（株）代表取締役
常務執行役員	室 井 哲 也	製造部門統括（製造第1部2部、生産技術部、調達部、品質保証部） 航空機部品推進室長
常務執行役員	大 河 哲 史	工作機械関連部門統括 ツダコマテクノサポート（株）代表取締役 TSUDAKOMA SERVICE INDIA PRIVATE LIMITED代表取締役 津田駒機械設備（上海）有限公司董事長
常務執行役員	石 原 英 行	鋳造部担当 鋳造部長
執行役員	西 村 勲	コンポジット機械部担当 準備機械技術部担当 コンポジット機械部長
執行役員	北 川 登 志	知財・情報管理部担当 知財・情報管理部長 デジタル戦略推進責任者（CDO）
執行役員	松 岡 実	総務部担当 総務部長
執行役員	高 鋤 悟	繊維機械販売部担当 繊維機械販売部長 経営企画室兼務
執行役員	名 木 啓 一	繊維機械技術部担当 繊維機械技術部長
執行役員	多 田 裕 之	工機技術部担当 工機技術部長

顧問

顧問	松 任 宏 幸	ツダコマ・ゼネラル・サービス（株）代表取締役
顧問	坂 井 一 仁	（株）T-Tech Japan代表取締役
顧問	寺 田 武 志	共和電機工業（株）代表取締役 津田駒機械製造（常熟）有限公司董事長



株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年11月30日 中間配当 毎年5月31日
定時株主総会	毎年2月
公告方法	当社ホームページ上に掲載
上場証券取引所	東京証券取引所（スタンダード）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	TEL 0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く）

ホームページのご案内
www.tsudakoma.co.jp

